

高血圧・脳卒中…その1

高血圧・脳卒中…その1

市川治療室 No.52/1994.10

ラットは赤い目をした真っ白なネズミで大黒ネズミとも言われます（黒いドブネズミとは違います）

東京オリンピックの年、1964年に必ず高血圧を発症するラットが日本で創り出されました。高血圧になりやすい遺伝素因を持ったラットを何世代も交配させ続けて作られたラットで 高血圧ラットと言われます。

その10年後、今度は脳卒中になりやすい遺伝素因を持ったラットから 必ず脳卒中を発症して死んでいく脳卒中ラットが創り出されました。

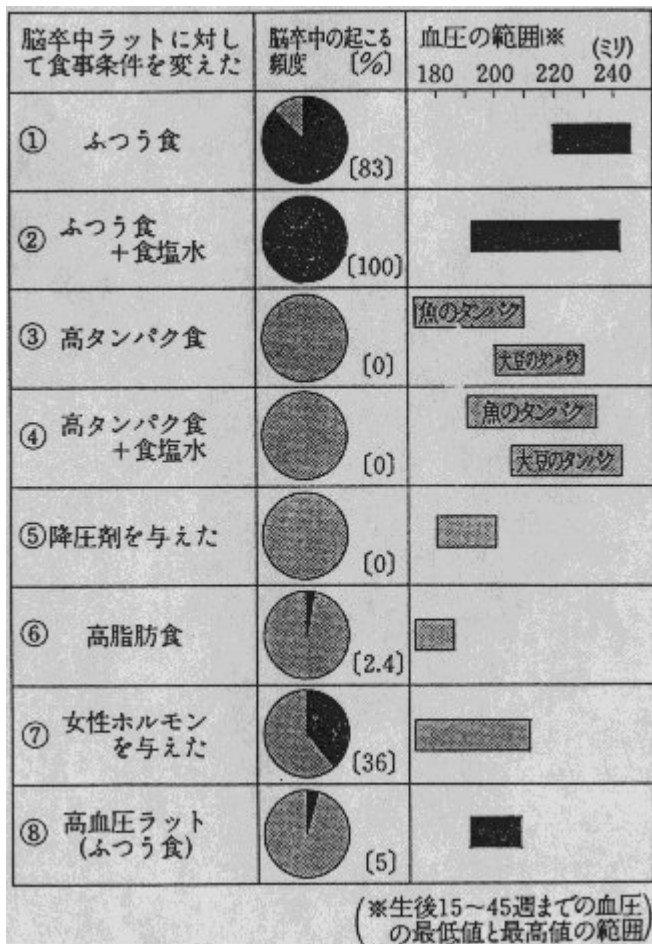
日本で生れた高血圧ラットと脳卒中ラットは高血圧・脳卒中の研究に欠かせないモデル動物で 現在、世界50カ国以上、300ヶ所以上の研究所でモデル動物物として需要があります。

高血圧ラットは高血圧を発症し、脳卒中ラットは脳卒中になって死んでゆくことから 高血圧や脳卒中は遺伝的な素因が関係していることが証明されました。

別の言い方をするなら、高血圧ラットと脳卒中ラットが高血圧や脳卒中の原因は 遺伝に関係あること、つまり一般に言われる体質であることを教えてくれました。

原因が遺伝（体質）であるなら高血圧や脳卒中への対策はないということになりますが、 高血圧ラットと脳卒中ラットは高血圧や脳卒中予防であることを教えてくれました。

（ここで言う高血圧は、腎臓・自律神経などが原因となる物ではなく 高血圧患者の90%以上を占める本態性高血圧のことです。）



上の図は色々な条件のもとで脳卒中ラットが脳卒中になる頻度と 血圧を調べたものです。脳卒中を発病することが運命づけられているラットでも 食事条件などを変えると脳卒中の起こる頻度が随分変わることが理解できます。

- 実験から分かる 高血圧・脳卒中に有効な方法
 1. ①と②から
 - ・ 食塩を制限する
 2. ③と④から
 - ・ タンパク質を多く摂取する
 - ・ 食塩制限は必要ない
 3. ⑤から
 - ・ 降圧剤を使用する
 4. ⑥から
 - ・ 脂肪・コレステロールを多く摂取する
 5. ⑦から
 - ・ 女性ホルモンを使用する

来月は 1 ～ 5 の各項目について説明します。

次回へ続く (To be continued on next numbar)